

船室について

- 全室シャワー・トイレ・冷蔵庫完備です。
- 船室は、上段ベッド付きとなる場合がございます。指定はお受けできません。
- バルコニースイート、ジュニアスイートのお一人様利用は、ご旅行代金の200%となります。
- バルコニースイートとジュニアスイートは、洗浄機能付きトイレを完備しています。
- 船部屋申し込みの客室では、ルームサービスがご利用いただけます。また、シャワー、トイレ、ロッカーなどの設備は同室で共用です。
- 旅行開始時13歳未満（中学生を除く）のお子様連れでの船部屋申し込みはお受けできません。
- ベジエットを除くフレンドリータイプの船室は、2段ベッドの下段指定が可能です（有料）。ベッド下のスペースは同室者との共用です。
- ファミリープランもご利用ください！大人3名につき最少読覧1名無料（詳しくは弊社までお問い合わせください）

旅行条件(要旨) -詳しい旅行条件書をお渡ししますので、内容をご確認のうえお申し込みください-

本旅行条件書は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。

1.募集型企画旅行契約

本旅行はNGOピースボートがコーディネートし、株式会社ジャパングレイス（以下「当社」といいます）が企画・実施する旅行です。本旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます）を締結することになります。

2.旅行のお申し込み

当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入の上、申込金として旅行代金の5％にあたる金額（別紙参照）を添えてお申し込みください。当社が申込金の受領確認が出来た時点で正式な申し込みとなります。

3.旅行代金に含まれるもの

①旅行日程に明記した船舶の運賃 ②船内泊入（ご請求書に記載された船室クラス）、船内イベント（一部有料あり）の代金 ③明示した食事回数のコレタ ④船舶による手荷物運送料金 ⑤添乗員の同行費

4.旅行代金に含まれないもの（上記3項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を以下に明示いたします。）

①オプションツアーの代金 ②船室クラス変更による追加代金 ③返船手続費用（ビザ代・渡船手続代行手数料・予約振替料金等）④船内のチップ ⑤ポートチャージ（港湾施設使用料等）⑥国際観光客税⑦海外旅行保険料、電送代、飲み物代などの個人約費用⑧超過手荷物料金 ⑨自宅から発着地までの交通費・宿泊費・手荷物運送費⑩船舶のフェュエル（燃料）サーチャージ

5.旅行代金のお支払い

①旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日目に当たる日以降の当社の定める日までに申込金を除いた旅行代金及び諸費用等をお支払いください。②お申込金は使用船舶の貸切代金の一部に使用いたします。

6.特別補償

当社はお客様が企画旅行中に、急激かつ偶然な外来の事故により被られた一定の損益についてあらかじめ定める額の補償金および見舞金を支払います。

7.取消料

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。

	取消日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	90日前以降61日前まで	旅行代金の5%
	60日前以降31日前まで	旅行代金の10%
	30日前以降21日前まで	旅行代金の20%
	20日前以降3日前まで	旅行代金の30%
	2日前（前々日）以降旅行開始日まで	旅行代金の50%
	旅行開始後または無連絡不参加	旅行代金の100%

本旅行の使用客船は貸切船舶によるものであり、いかなる理由であれ、旅行開始後の船舶に係る旅行代金の払い戻しはありません。

8.その他

①クルーズにご参加の場合は、海外旅行保険にご加入されることを必須といたします。

②旅行条件に定めない事項は当該旅行業約款「募集型企画旅行契約の部」によります。

なお、当社約款は当社ウェブサイトよりご覧いただけます。

③このパンフレット記載内容は2023年2月1日を基準としています。

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス（観光庁長官登録旅行業 第617号）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13
www.japangrace.com

 一般社団法人日本旅行業協会正会員  旅行業公正取引協議会会員

 振込口座 口座名義はいずれも (株) ジャパングレイス	三菱UFJ銀行 高田馬場支店 普通 1211859	三井住友銀行 高田馬場支店 普通 9103064	みずほ銀行 高田馬場支店 普通 1991082
--	--	---------------------------------------	--------------------------------------

Coordinated by ピースボート 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1B1
TEL：03-3363-7561 / FAX：03-3363-7562 www.peaceboat.org

● **PHOTO**：PEACEBOAT、職員美穂、浅藤和亮、堤清崇志、片岡和志、河野桃子、中村克利、野田美奈、松田英孝、水本俊也、梶井和馬、沢木志保、PONANT、Adobe Stock、amanajimages、shutterstock.com、Getty Images/Johann S. Karlsson、Reed Kaestner、Wikimediacommons/High Contrast、Ismoon、Pharos

【プライバシーポリシー】当社は、旅行申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、お申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等（主要な運送・宿泊機関等については各スケジュールに記載されています）の提供するサービス手配及びそれらのサービスの受渡の手續に必要な範囲内で利用させていただきます。このほか当社は、将来、よりよい旅行商品の開発のためのマーケティングや、当社の旅行商品のご案内お客様にお届けするために、お客様の個人情報を利用させていただくことがあります。当社は、当社が保有するお客様の個人データのうち、氏名、住所、電話番号又はメールアドレスなどのお客様のご案内にあたり必要となる最長の期間のものについて、NGOピースボート及びグットユニバーサル株式会社との間で、共同で利用させていただきます。NGOピースボート及びグットユニバーサル株式会社は、催し物等のご案内、ご購入いただいた商品の発送等のために、これを利用させていただくことがあります。詳しくは当社ウェブサイトをご参照願います。
※グットユニバーサル株式会社は、当社が船上での英語語教室（グループ・イングリッシュ・トレーニング/GET）の運営を委託しているグループ企業です。個人情報管理責任者：本山誠

ビザ（査証）取得について

- クルーズに必要なビザ（査証）は、弊社にて取得手続きの代行をいたします。
- ※参加いただくオプショナルツアーによっては、ビザ取得の為の追加代金や追加書類をご提出いただく場合があります。
- ※バンフレット記載のビザ取得代金は日本国籍の方の代金です。日本国籍以外の方もお気軽にお問い合わせください。
- ※米国入国には、ESTA認証（米国電子渡航認証システム）の事前取得が義務づけられています。（有料：21米ドル）
- ※シェンゲン協定により、ご出発前のシェンゲン加盟国への旅行日数によって、当クルーズにご参加いただけない場合がございます。
- ※2023年より欧州渡航情報認証制度（ETIAS）の導入が予定されています。

ご確認事項

- 天候や現地事情の影響により、入出港日時の変更や抵港になる場合がございます。
- ※船舶が沖合に停泊し、テンダー・ボートなどを使用して上陸する寄港地では、気象条件によっては上陸できないこともございます。
- ※この旅行は地球の過剰地への航海であり、天災地変、政治状況の悪化、現地官憲の命令など、当社が関与し得ない事由が生じた場合、乗船客の安全を第一と考え、また航海の安全を考慮し、お客様に事前に、あるいは緊急の場合は変更後にお知らせし、旅行日程、旅行サービスの内容を変更する場合がございます。
- ※航海日程は船長や船会社の判断によっても変更される場合があります。
- ※上記のような不可抗力による変更の場合でも、払い戻しは一切ございませんので、予めご了承ください。
- ※バンフレット記載の寄港地に関する案内文および写真の一部は、オーバールンドツアー含むオプショナルツアー（有料）に参加された場合にお楽しみいただける内容をそんであります。
- ※オーバールンドツアーは寄港地で一時下船して別の港で再会済するツアーです。
- ※バンフレットに掲載の写真は、お客様にピースボートクルーズのイメージをお伝えするものであり、過去に使用した別の客船で撮影された写真も含んでおります。また、季節に関わりなく全て旅のイメージです。
- ※横浜港乗船の方は神戸港にて、また神戸港乗船の方は横浜港にて一時下船ができます。
- ※自宅から集合・解散地等発着港までの交通費は含みません。

海外旅行保険への加入が必須です

ご旅行中に疾病や事故などの事態に遭遇し、思いもよらない高額な治療費用や救護者費用などが発生した場合、法律上これらの費用は全てお客様個人のご負担となります。このような事態に備えるため、旅行期間のすべてがカバーされた海外旅行保険へ必ずご加入ください。海外旅行保険に加入されない場合、本旅行への参加をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

旅行変更費用補償特約の同時加入をおすすめします

クルーズの取消料はご出発の90日前から発生しますので、ご自身はもとより、ご家族・ご親戚の病気・事故などでご旅行をキャンセルしなければならぬ場合に備えて「旅行変更費用補償特約」に加入することをおすすめします。

海外安全情報

外務省の治安に関する海外安全情報より「レベル1」：十分注意してください、「レベル2」：不要不急の渡航は止めてください」が下証の通り発出されておりますが、現地手配会社、関係官庁、船舶代理店などから最新情報を得て、当社が安全と確信しましたので本旅行を催行いたします。

「レベル1：十分注意してください」

コーチン、アカバ、ポートサイド、オーチャロス、クリストバル

「レベル2：不要不急の渡航は止めてください」

マンサニージョ

尚、現地の治安および感染症など海外の安全に関する情報は、お客様自身でも確認していただきますようお願いいたします。

横浜発着 107日間 2025.4.23 (木) -8.7 (木) 神戸発着 107日間 2025.4.24 (木) -8.8 (金)

VOYAGE 120



パシフィック・ワールド号でゆくピースボート地球一周の船旅

2025年4月 Voyage120

PEACEBOAT CRUISE 2025.4 Voyage120

P4-7 FEATURES BEAUTIFUL LANDSCAPES

短くも美しい初夏の美景

P8-10 HERITAGE

時代を越えて人びとを魅了する
世界各地の「宝物」

P11-13 THE ART PARADISE

芸術とめぐる世界一周
文芸研究家 カジボン・マルコ・残月

P14-15 OTHERS

「世界のいま」を感じる世界一周クルーズの旅
全寄港地一覧



美しい一瞬に出会う その瞬間が日々訪れる

シチリア島の少し南側の地中海に浮かぶ小さな島国、マルタ共和国。まるで海の上に浮かんでいるかのような城塞都市だ。世界一周クルーズの中でも、これほどにも美しい街並みが船の入港を迎えてくれるのは、バレッタならではの。マルタ島の大地から切り出された「マルタストーン」で覆われた家々の外壁を朝日が照らしだすと、街全体がやわらかなハチミツ色に輝き出す——街が起きたす気配に、否が応にも上陸への期待が高まり、「世界にはまだまだ知らない、素晴らしい景色があるんだ」と、バルコニーで思わずひとりごつ。

クルーズライフの快適さと訪問先のバリエーションの多さから、世界中で人気のクルーズ旅行。その中で、最も特別な「世界一周クルーズ」は、一本の線を海の上に描くように、遥か4万kmにおよぶ地球をめぐる壮大な旅です。小さきまな感動と発見が訪れる日々が今、はじまります。



BEAUTIFUL LANDSCAPES

短くも美しい初夏の美景

若葉萌ゆる「緑」のフィヨルドと、氷河きらめく「白」のフィヨルド——
それは、船旅だからこそ出会うことのできる圧倒的な自然の景観。
北欧とアラスカ、異なる表情を魅せるふたつの絶景の中をクルージングします。

NORWAY

ソグネフィヨルド / ノルウェー

全長204kmにも及ぶ、ノルウェー最長のソグネフィヨルド。
ノルウェー語で「入り江」を意味するフィヨルドは、氷河による
浸食作用によって形成された複雑な地形の湾や入り江
を指します。その雄大で神秘的な景観は、得も言われぬ美
しさ。船で訪れるからこそ堪能できる壮大な景色です。



可愛らしい街並みが特徴の北欧でも、ベルゲンのブリッゲン地区
は特に人気の高いスポットです。カラフルな家々が建ち並ぶ景色は、
まるで絵ハガキのよう。



ノルウェーは、北欧の伝説の妖精「トロール」の暮ら
す国。現在でも日常生活でふっと物が無くなった際
には「トロールのいたずら」と言われるのだとか。
定番のノルウェー土産としても大人気です。



脂ののったノルウェーサーモンは、北欧グルメの代
表格。スモークサーモンのマリネやオープンサンド、
バターソテー、フィッシュスープなど、その食べ方は
多種多様。

ALASKA

アラスカ

無数の氷河が谷を掘り刻みながら流れ、削られた深い谷
に海水が入ることで形づくられた雄大なアラスカフィヨ
ルドを本船で遊覧します。頂に雪を抱いた急峻な山々と静か
な水面が織りなす景観は、「これぞアラスカ」というべきダイ
ナミックな風景。悠久の時間が創り出した圧倒的なスケ
ールの大自然がどこまでも広がります。



ケチカンでは、豊かな先住民族文化に出会うこと
ができます。ケチカンは、アラスカネイティブの中
でもトーテムポールをつくる文化の発達した部族が暮
らしています。



氷河の近くで耳を澄ますと、ゴロゴロと雷鳴がど
ろろのような音が聞こえることがあります。この音は
氷河の奥底へと氷塊が落ちることで発生すること
から、「アラスカンサンダー」と呼ばれます。



アラスカ最南端の街・ケチカン。川沿いにカラフルな高床式の本造
家屋が並ぶクリークストリートでは、さまざまなアラスカ土産を手
に入れることができます。

自然と共生する都市



VANCOUVER

バンクーバー

美しい自然と完成された都市のハーモニーが楽しめるのがここバンクーバー。2016年にはアメリカの旅行雑誌で世界で最も魅力的な都市トップ10にも選ばれています。



緑に囲まれたスタンレーパークは、市民の憩いの場。自転車を借り、初夏の陽気を感じながら園内のサイクリングするのも一興です。



郊外へとハイキングに出かければ、深い渓谷で森林浴を楽しんだり、吊り橋で空中散歩をしたりと、カナダの大自然が味わえます。



ICELAND

アイスランド

国内の消費エネルギーの大半を地熱と水力でまかなう世界屈指の自然エネルギー大国アイスランド。「地球」を感じる豊かでパワフルな自然が、一番の見どころです。



大地が呼吸するかのように水面が上下し、およそ4〜8分間隔で轟音とともに水しぶきが噴き上がるのは、ストロククル間欠泉。



大陸プレートが露出した大地の割れ目「ギャオ」。ここも、火山活動や地殻変動が創るアイスランドの絶景を象徴するスポットです。



FINLAND

フィンランド

ムーミンの故郷としても知られるフィンランド。自然と調和した街には、19世紀初頭のネオ・クラシック様式と近代のモダン建築が融合した、印象的な街並みが広がります。



世界的な人気を誇るキャラクター「ムーミン」は、フィンランド生まれ。ムーミンの故郷ならではの土産探しも楽しみです。

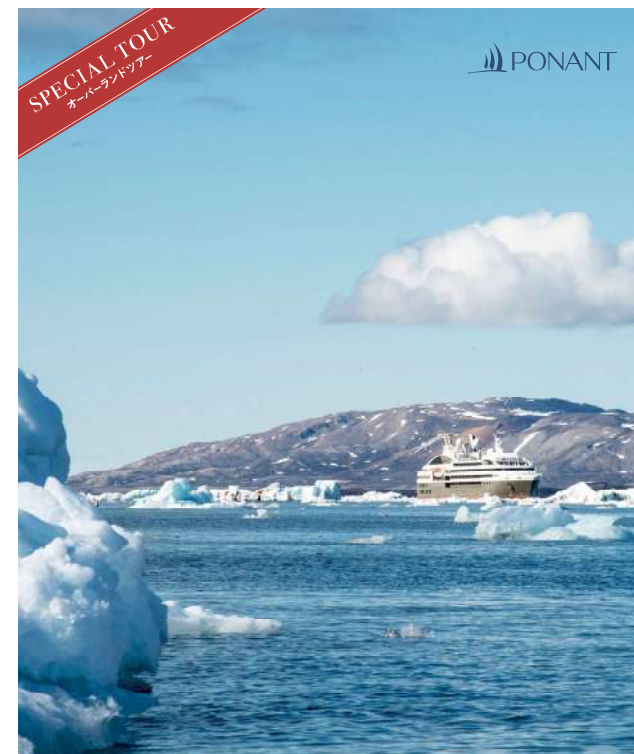


近年、世界的に注目されつつある北欧料理。香草をふんだんに用いたサーモンやシカ肉料理は、この土地ならではの味わいです。

THE ARCTIC

北極

氷に閉ざされた島々、行く手に浮かぶ巨大な氷山、極限の地を生きる動物たち、凜と澄み切った空気―幾多の冒険者が夢を追求めた北の最果てには、厳しくも美しい風景が広がります。最先端の技術と厳格なルールの順守で持続可能な観光に取り組むフランス・ポナン社の所有する客船で、息をのむ絶景が待ち受ける北極を目指します。



GALAPAGOS

ガラパゴス

世界自然遺産の第1号として、また、かのチャールズ・ダーウィンが「進化論」の着想を得た地として知られる、生命の楽園・ガラパゴス諸島。ピースボートクルーズではこの地を訪れる度に、人間の活動によって破壊された生態系の復元を目指し、島の固有種を現地の若者たちと植樹する『ガラパゴスの森再生プロジェクト』を行っています。



HERITAGE

時代を越えて人びとを魅了する世界各地の「宝物」

古代都市

JORDAN ヨルダン



ペトラ遺跡のエンタランスからしばらくは、「シーク」と呼ばれる切り立った崖の間の細い道を進みます。道の両側にそびえる崖は高さ100mに達し、この道歩いているだけでも自然の驚異を感じずにはられません。



海抜はマイナス430mと地表で最も低い場所にあり、世界一高い塩分濃度による強力な浮力を体験できる「死海」。ミネラルを豊富に含んでいることから健康に良いとされ、古代ヘロデ大王やエジプトの女王クレオパトラをも魅了してきました。

ペトラ遺跡

映画「インディ・ジョーンズ最後の聖戦」のクライマックスの舞台として知られ、未だ発掘が終わらないほどに壮大なスケールをもつ、ペトラ遺跡。「シーク」と呼ばれる断崖絶壁の狭間を歩いてたどり着いた目の前にそびえ立ち、見る者に圧倒的な存在感を放つ「宝物庫」を意味するエル・ハズネが最大のハイライトです。



ピラミッド

カイロの郊外にそびえるギザの三大ピラミッドは、古代エジプト文明を象徴するスポット。砂に足を取られながら砂漠の中にたたずむ美しい四角錐へと近づけば、そのロマンとミステリーにふれられるでしょう。

SPECIAL TOUR
オーバードラフトツアー



ルクソール神殿

古代エジプト王朝最盛期の都で、「古代都市テベとその墓地遺跡」として世界遺産にも登録されるルクソール。「カルナック神殿」や「ルクソール神殿」、「王家の谷」、「メムノンの巨像」など、エジプト文明の栄華をいまに伝える遺跡の数々が私たちを惹きつけます。

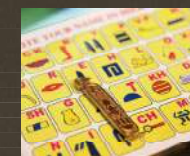
EGYPT エジプト



古代エジプトの芸術性は、当時から数千年が経過した今見ても変わらない美しさに満ちています。お土産選びも目移りしてしまいます。目の前に広がる魅力的な商品の数々に前に、アラブの商人たちが力強く呼び込みます。



レンズ豆やヒヨコ豆を用いたバラエティ豊かな豆料理をはじめ、クミンやターメリックなどのスパイスをふんだんに使った本場アラブ料理はどれも絶品。



古代エジプトで用いられた象形文字ヒエログリフにおいて、縄で囲まれ高貴な身分の人物を表した文字「カルトゥーシュ」。エジプトで人気のお土産です。

天空都市



SPECIAL TOUR
ヨーロッパランドツアー



GREECE ギリシャ

メテオラ

切り立った奇岩の頂に修道士たちが暮らす、「天空の修道院」メテオラ。下界と隔絶された幻想的な風景には、息をのむばかり。大自然と建物が織りなす絶景はもちろんのこと、フレスコ画やアイコンなどビザンチン美術に彩られた修道院の内部も大きな見どころです。



PERU ペルー

マチュピチュ遺跡

アンデス山中の奥深くに築かれたインカ帝国の都市遺跡マチュピチュ。空からしかその姿を確認できないことから「空中都市」と称される遺跡は、悠久の時を超えて私たちを魅了します。



SPECIAL TOUR
ヨーロッパランドツアー

SPAIN スペイン

アルハンブラ宮殿

かつてイスラム王朝の中心地として栄えたグラナダの街。「アンダルシアの宝石」と称されるアルハンブラ宮殿は、スペインにおけるイスラム美術の最高傑作です。15世紀末、キリスト教勢力のイスラム駆逐運動によって陥落した後、宮殿の大部分はその卓越した優美さから破壊を免れ、いまも在りし日の栄華を伝えています。



FRANCE フランス

モン・サン・ミッシェル

浅浅の海に浮かぶ美しいシルエットから、「西洋の驚異」と称される修道院。建てられてから千年もの間、多くの人の手で改築や修復を繰り返し、修道院、要塞、監獄……とその姿を変えてきた建物は、フランスの歴史そのものです。



時代に翻弄された建築



THE ART PARADISE

文芸研究家「カジボン・マルコ・残月」

芸術とめぐる世界一周

地球が作り出した芸術ともいえる風景から、名作といわれる小説や歌の舞台となった国や土地、建築物まで。世界一周クルーズでめぐる世界は芸術であふれています。世界各地を旅してきた文芸研究家カジボン氏に、今クルーズの寄港地とゆかりのある芸術の舞台やエピソードを伺います。



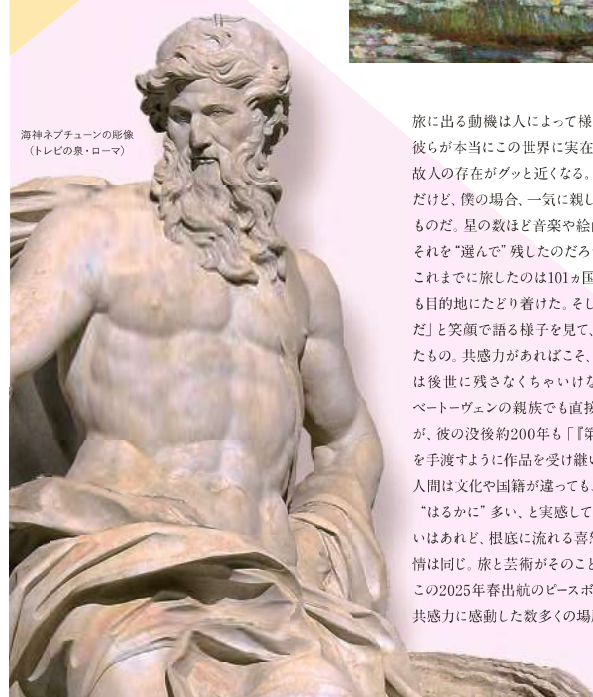
カジボン・マルコ・残月

文芸研究家・「墓マイラー」。大学時代に文芸研究会を旗揚げ、35年間にわたり101ヶ国、2,500人以上の墓巡りを行う。自らの造語「墓マイラー」は「大辞林」「現代用語の基礎知識」に掲載された。著書に「墓マイラー・カジボンの世界音楽家巡礼記」(音楽之友社)など多数。



左上:『変わら帽子をかぶった自画像』ゴッホ / 中央中:『睡蓮の池に架かる橋』クロード・モネ / 中央右:『ダンス教室』エドガー・ドガ / 右下:『水差しを持つ女』フェルメール
※いずれもメトロポリタン美術館蔵

海神ネプチューンの彫像
(テレビの景・ローマ)



旅に出る動機は人によって様々だ。僕は敬愛する芸術家や作家など歴史上の偉人の足跡をたどり、彼らが本当にこの世界に実在したことを肌身で知りたくて海外に飛び出した。生家や墓所を訪ねると故人の存在がグッと近くなる。『芸術』や『文学』と聞くと、「何だか難しそう」と斜めに構えてしまいがちだけど、僕の場合、一気に親しみやすくなるマジックワードがあった。「どうして残ったんだろう?」というものの。星の数ほど音楽や絵画があるなか、なぜ現代までその作品が残ったのか? どうして先人たちはそれを「選んで」残したのだろう? こう考え始めた瞬間、すべての作品が好奇心を刺激し輝き始めた。これまでに旅したのは101ヶ国。旅先ではカタコトの言葉でも。親切な地元の人に助けられてどの国でも目的地にたどり着けた。そして案内してくれた人が別れ際に「ゴッホはいいね」「私もショパンは好きだ」と笑顔で語る様子を見て、人間が持つ「共感性」に感動した。芸術は他人の心の動きが形になったもの。共感性があればこそ、心を重ねて自分の物語として悲喜こもごもの感情を共有し、「この作品は後世に残さなくちゃいけない」と、突き動かされる。ベートーヴェンの親族でも直接の知り合いでもない人たちが、彼の没後約200年も「『第九』はいいよ!」と、バトンを手渡すように作品を受け継いできた。人間は文化や国籍が違ってても、相違点より、共通点の方が「はるかに」多い、と実感している。民族的な価値観に違いはあれど、根底に流れる喜怒哀楽の感情や家族愛、友情は同じ。旅と芸術がそのことを僕に優しく教えてくれた。この2025年春出航のピースポートクルーズには、僕がこの共感性に感動した数多くの場所がある。





ワディ・ラム（ヨルダン）

赤土の砂漠の中に岩山や巨石が点在し、夜は満天の星の下でキャンプを楽しむ世界遺産ワディ・ラム。“月の谷”とも呼ばれるヨルダン最大の涸れ谷（ワディ）で、古代人の壁画なども残る。一帯にはベドウィン（遊牧民）が暮らしラクダがたたずみ、一度訪れると一生忘れられない土地だ。映画『アラビアのロレンス』のロケ地であり、火星のような景色は『スター・ウォーズ』『オデッセイ』などSF映画にも多く登場している。ヨルダンでは他に岩壁を削った古代都市ペトラも訪れたい。ピンク色の岩壁を掘り出して作った神殿の美しさに心を奪われる。



古代人の壁画



ペトラ遺跡

アクロポリスのパルテノン神殿（ギリシャ）

ギリシャ語で「高い町」を意味するアクロポリス。石灰岩の丘にそびえる白亜のパルテノン神殿は、アテネの黄金時代、紀元前438年に守護神アテナを祀るため造られた。46本の石柱で支えられ、完成当時は内部に金色の巨大アテナ像が立っていたという。丘の上にはニケ神殿やエレクトيون神殿などが立ち並び、2,500年前にソクラテスやプラトンが見た景色を、自分も見つめていることにロマンを感じる。



エレクトيون神殿



ニケ神殿



パルテノン神殿



ニューヨーク（米国）

世界で最も刺激的な摩天楼の街。あらゆるルーツの人々が共生する米国の縮図であり、異文化交流が生むバワフルなエネルギーが街を発展させてきた。見どころは多く、ゴッホの『星月夜』が人気のニューヨーク近代美術館、メトロポリタン美術館、“世界の交差点”タイムズスクエア、国連本部（内部も見学可能）、マンハッタン象徴エンパイア・ステート・ビル（381m），“世界最大級のオペラハウス”メトロポリタン歌劇場、空中散歩ができるブルックリン橋、天井画が星座の巨大駅グランド・セントラル・ターミナル等々。自由と民主主義を尊ぶアメリカの象徴“自由の女神”は、アメリカ独立100周年を記念して、独立を支援

したフランス人民から贈られた（1886年除幕）。右手には世界を照らすたいまつを、左手には独立記念日の日付「1776年7月4日」が刻まれた独立宣言書を持つ。ローマ神話における自由の女神リベルタスをかたどり、女神の冠の7つの突起は、7つの大陸と7つの海を表し、世界の人々が自由を手をすることを願っている。ちなみに故ジョン・レノンの住居ダコタハウスに面するセントラルパークには、地面に「イマジジ」と刻まれたジョンのメモリアル広場があり、世界中からビートルズファンが集う。初対面の人と一緒にビートルズソングを歌う光景は感動的で、ジョンの魂が僕たちのために生きていることを感じる。



1: ブルックリン橋、2: メトロポリタン歌劇場、3: メトロポリタン美術館



自由の女神像



タイムズスクエア



絵画 ゴッホ《星月夜》



国連本部



エンパイア・ステート・ビル



ジョン・レノン メモリアル広場

ベルゲン（ノルウェー）

フィヨルドはノルウェー語で「入り江」を指し、氷河が何百万年もかけて削った谷に海が入りこんだもの。地形が複雑で断崖や滝が目前に迫るなど、船から見る景観がどんどん変化するため見飽きない。国民的作曲家グリーグの家や作曲小屋は西部ベルゲンのフィヨルドにあり、大自然の前に曲の構想を練る姿が目に見え、名曲『朝』を聴きながらベルゲンの街を散歩すると気持ちが良いだろう。



ブリッゲン地区



フィッシュマーケット



グリーグの銅像



コペンハーゲン（デンマーク）

『人魚姫』『マッチ売りの少女』『みにくいアヒルの子』など約150編の童話で知られるアンデルセンは、デンマークの作家・詩人だ。「旅は私の学校」「旅することは生きること」と生涯に約30回も外国旅行をするほど旅好きだった。世界最古のテーマパーク・チボリ公園の側にアンデルセン像が坐し、コペンハーゲン港の近くには人魚姫のブロンズ像がある。シェイクスピアの『ハムレット』の舞台としても知られる世界遺産クロンボーク城なども巡ってみたい。



アンデルセン像

ストックホルム（スウェーデン）

水路が多く“北欧のベネチア”と呼ばれるストックホルム。ノーベル賞創設者アルフレッド・ノーベルの母国であり、毎年12月にノーベル賞授賞式が行われている。晚餐会会場のストックホルム市庁舎はガイドツアーに申し込むと見学可能で、1,300人が食事をとるブルーホールは必見だ。旧市街の《ノーベル博物館》にはアインシュタインの直筆の手紙など歴代受賞者の資料が展示されている。郊外の共同墓地スコーグスシュルコガーデン（森の墓地）は、自然と調和するように設計されており、北欧人にとって精神的な故郷である“森”に還る場を表現、その美しさから20世紀以降の建築物では世界遺産第一号に指定されている。



ブルーージュ（ベルギー）

中世の面影を残す古都で街全体が世界遺産に。地名ブルーージュの由来は「橋」で、張り巡らされた運河にかかる無数の橋に因んでいる。鐘楼の鐘の音が石畳や水面に響き、得も言われぬ旅情に包まれ、散歩しているだけで涙が出そうになる。2002年には、教会の尖塔や街並みの美しさからスペイン王国のサラマンカと共に欧州文化首都に選定された。

アイスランド

北極圏付近の大きな火山島を領土とする共和国。100をこえる火山があるため周期的に湯やガスを噴き上げる間欠泉が多く、《グレート・ゲイシール》は最大で60mにもものぼる熱湯の柱を噴出し迫力満点だ。



「世界の絶景25」にも選ばれた世界最大の温水プール《ブルーラグーン》。コンビニ50店舗ほどの広さに水色のミルクのようなお湯がたっぷり。他にも、アイスランドは全土で温泉が湧き、その数約800箇所！国民幸福度で常に上位の理由のひとつに“温泉天国”もあるだろう。

「世界のいま」を感じる 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧



中国
広州
海のシルクロードで栄えた港町



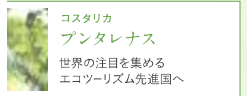
スペイン
マラガ
「太陽の海岸」と称される欧州有数のリゾート地



ノルウェー
ベルゲン
ノルウェー有数の港町で北欧グルメに舌鼓



パナマ
クリストバル
中米の豊かな自然が育んだ先住民文化と出会う



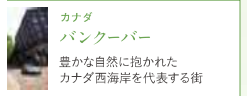
コスタリカ
プンタレナス
世界の注目を集めるエコツーリズム先進国へ



米国
ケチカン
先住民文化が伝わるアラスカ最南端の街



米国
スワード
悠久の時間が地球に刻む圧倒的な大自然



メキシコ
マンサニージョ
巨大なカジキマグロが迎える穏やかな港町



カナダ
バンクーバー
豊かな自然に抱かれたカナダ西海岸を代表する街



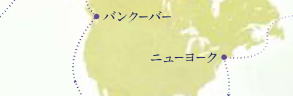
シンガポール
多様な文化が混在する赤道直下の近未来都市



インド
コーチン
スパイス文化が華やぐ南インドの水郷地帯



ヨルダン
アカバ
壮大な砂漠地帯へと続くヨルダンの海の玄関口



エジプト
ポートサイド
交易の十字路口に刻まれた異国情緒と出会う



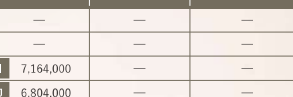
ギリシャ
サントリーニ島
紺碧の海に浮かぶ絶景のリゾートアイランド



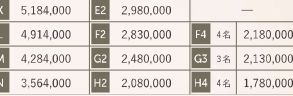
ギリシャ
ピレウス
古代ギリシャの中心地でエーゲ海の恵みを味わう



イタリア
カタニア
エトナ山と共にあるシチリア島的美観都市



マルタ
バレッタ
ハチミツ色に輝く世界遺産の街



デンマーク
コペンハーゲン
伝統とモダンが交差するおとぎの国の首都



フィンランド
ヘルシンキ
シンプルでぬくもりのある北欧デザインと出会う



エストニア
タリン
バルト海を彩る絵本の世界のような街並み

スウェーデン
ストックホルム
中世の街並みが残るカラフルで活気ある街

ドイツ
ハンブルク
ハンザ同盟の中心地として栄えたドイツ最大の港町

ベルギー
ゼーブルージュ
ワッフルで一服チョコレートで街を舌鼓

オランダ
アムステルダム
運河と歴史が息づく中世の街

ポーランド
グダニク
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

ラトビア
リガ
中世の街並みとバルト海の風が心地よい

リトアニア
クライペダ
バルト海の玄関口として栄えた歴史ある港町

多様なニーズに合わせて選べる船室の数々

バルコニースイート

プライベート空間でも海を身近に感じられる、海側に面した船室を豊富に備えたバシフィック・ワールド号。旅の目的に合わせ、自由にお選びいただける船室設定です。

スタンダードバルコニー

シングルエコノミー

- 最少催行人数：600名
- 船中泊
- 日本人添乗員が同行します
- 食事：朝105回、昼105回、夕105回
- 医師、看護士が乗船します
- 使用客船：バシフィック・ワールド号（総トン数：77,441トン/全長：261.3メートル/全幅：32.25メートル/喫水：8.1メートル/乗客定員：2,419名/運航会社：シーホークコーポレーションリミテッド（インク）

旅行代金一覧（単位：円）

船室クラス
バルコニースイート
ジュニアスイート
スタンダードバルコニーI
スタンダードバルコニーII
アウトサイドI
アウトサイドII
エコノミー
バジェット

※いずれも大人一人様旅行代金です						
バルコニー/窓	フロア	ベアタイプ (2人部屋)	シングルタイプ (1人部屋)	セミシングルタイプ (2人相部屋)	フレンドリータイプ (3～4人相部屋)	
バルコニー付	8～10	A 7,920,000	—	—	—	
	8～10	B 6,380,000	—	—	—	
	11～12	C 3,980,000	I 7,164,000	—	—	
	9～10	D 3,780,000	J 6,804,000	—	—	
窓あり	8～11	E 2,880,000	K 5,184,000	E2 2,980,000	—	
	5～6	F 2,730,000	L 4,914,000	F2 2,830,000	F4 4名 2,180,000	
窓なし	8～12	G 2,380,000	M 4,284,000	G2 2,480,000	G3 3名 2,130,000	
	5～6	H 1,980,000	N 3,564,000	H2 2,080,000	H4 4名 1,780,000	

別途諸経費

チップ合計	ポートチャージ合計	ビザ取得代金合計	国際観光旅客税	米国アラスカ州クルーズ税
179,760	95,480	30,375	1,000	4,830

※2023年2月1日現在の金額です

バシフィック・ワールド号でゆくピースポート地球一周の船旅
2025年4月 Voyage120

横浜発着107日間 2025.4.23(水)～8.7(木) 神戸発着107日間 2025.4.24(木)～8.8(金)

日程		寄港地	
4.23 水	出航 午後	横浜	
4.24 木	出航 夜	神戸	
4.28 月	入港 午前 出港 午後	広州	中国
5.2 金	入港 午前 出港 午後	シンガポール	
5.7 水	入港 午前 出港 午後	コーチン	インド
5.16 金	入港 朝	アカバ	ヨルダン
5.17 土	出港 夜		
スエズ運河通航			
5.19 月	入港 午後	ポートサイド	エジプト
5.20 火	出港 深夜		
5.22 木	入港 朝 出港 午後	サントリーニ島	ギリシャ
5.23 金	入港 朝 出港 午後	ピレウス	ギリシャ
5.25 日	入港 朝 出港 午後	カタニア	イタリア
5.26 月	入港 朝 出港 午後	バレッタ	マルタ
5.29 木	入港 朝 出港 午後	マラガ	スペイン
5.31 土	入港 午前 出港 午後	ボルト	ポルトガル
6.3 火	入港 朝 出港 午後	ル・アーブル	フランス
6.4 水	入港 午後 出港 深夜	ゼーブルージュ	ベルギー
6.6 金			